

「当院で出生し、NICU/GCU で入院管理を行った一絨毛膜二羊膜^{いちじゅうもうまくにようまく}双胎児の後方視
的観察研究」についてのご説明

1. はじめに

一絨毛膜二羊膜 (以下 MD)双胎の妊娠中は MD 双胎固有の様々な産科合併症を
発症する可能性があり、赤ちゃんの発育や羊水量の差に注意しながら、管理する必
要があります。一方で、妊娠中の経過が問題なくとも、出生時に双胎の間で体重差
が大きかったり、貧血・多血を認めたり、呼吸・循環障害を来すことがあります。
そのため、当院では MD 双胎の患者さんを週数、体重に関わらず、出生時から
NICU/GCU へ入院として、全身状態の観察と血液や超音波検査などの確認を行っ
ています。

今回、当院 NICU/GCU で入院管理を行った MD 双胎の患者さんの経過や検査所
見に関する研究を行います。

2. 研究対象

2016年1月1日から2023年12月31日までの間に当院で出生し、NICU/GCU へ
入院した MD 双胎の患者さんが対象です。200 症例 (100 組)を予定しています。

3. 研究内容

対象となった患者さんとそのお母さんの経過や使用薬剤、血液検査などの情報
をカルテから収集します。その情報から MD 双胎の患者さんの適切な管理方法を
考察します。なお、この研究を行うことで患者さんに通常診療以外の余分な負担は
生じません。

4. 患者さんの個人情報の管理について

研究では個人情報の漏洩を防ぐため、個人を特定できる情報を削除し、データのデジタル化、データファイルの暗号化などの厳格な対策を取っています。この研究の実施過程及びその結果の公表の際には患者さんを特定できる情報は一切含まれません。

5. 患者さんがこの研究に診療データを提供したくない場合の措置について

2016年1月1日から2023年12月31日までの間に当院で出生し、NICU/GCUへ入院したMD 双胎の患者さんのなかで、この研究に診療データを提供したくない方は下記までご連絡ください。

6. 研究期間

2024年3月19日 から 2026年12月31日まで

7. 医学上の貢献

研究成果はMD 双胎の患者さんの適切な管理方法を解明する一助となり、今後出生するMD 双胎の患者さんの治療などに貢献できます。

8. 問い合わせ先

松戸市立総合医療センター 新生児科

〒270-2296 千葉県松戸市千駄堀 993-1

TEL 047-712-2511 (代表/応対可能時間：平日 8時30分から17時)

研究実施責任者 新生児科医長 橋本 真

研究分担者 新生児科主任部長 鶴田 志緒